

大賞にルーマニアのキフ・パネッテさんの 「TRAVELLER WORLD」

洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005



真剣な眼差しで審査を行う

今年で第七回目の開催となる洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005の第二次審査会が、七月二十六日、総合センターで行われ、大賞、準大賞、優秀賞がそれぞれ一点、今回から新設の伊達信用金庫賞一点が選ばれました。

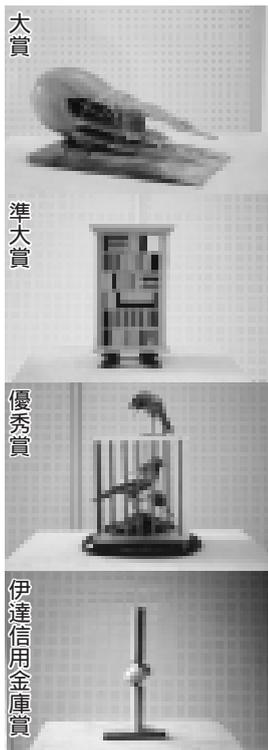
なお、展覧会は、九月二十三日から十月二十三日まで総合センターで開かれます。

受賞作品は下記のとおりです。

(詳しい紹介は、次号の広報に掲載します)

受賞作品一覧

	作家名	国名	作品名
大賞	キフ パネッテ	ルーマニア	TRAVELLER WORLD (旅人たちの世界)
準大賞	瀧川 比呂史	日本	Personal Library
優秀賞	キティチャロエンウワット アリヤ	タイ	“FLYING IN THE BOX” (かごの中の鳥)
伊達信用金庫賞	松本 薫	日本	Cycle-90° 「風の予感」



大賞

準大賞

優秀賞

伊達信用金庫賞

五月二十四日、東京都で行われた第一次審査会で二十ヶ国、六十点の作品が選ばれました。

第二次審査会の会場である総合センターには、これら六十点の作品、全てが揃い、審査委員長の笹野尚明北海道美術館学芸員協議会会長・前札幌芸術の森美術館館長をはじめ五氏が慎重かつ厳正に審査を行いました。

今回の審査は、ビエンナーレに関する村民理解向上の一環として公開審査を行い、村民約三十名は、段階的に厳選されていく審査の行方を、固唾を呑んで見守りました。公開審査の説明で、笹野審査委員長は、「一回目で選ばれた作品で高得点だからといって大賞に選ばれるとは限りません。

段階的に進んでいく審査の中で、われわれも修正を行っていくのです。」と審査の難しさについて話されました。

審査後の総評では、「ビエンナーレも回を重ね、出品作品の質も知名度も上がってきた。一時は、九百点近くあった応募作品も、ちょうど良い六百点と落ちてきたようです。また、受賞作品以外にも、良い作品がたくさんあります。」と作品の傾向の変化を話していました。

また、ビエンナーレを発案された故藤本雅俊元村長の遺徳を讃えて設けられた『F氏賞』については、八月一日から三日までの三日間、村民投票が行われ、受賞作品が決定します。